

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Tumors arising in nevus sebaceus: A study of 596 cases	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ2-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID	10642683	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Acad Dermatol.	
	雑誌 ID		
	巻	42	
	号	2	
	ページ	263 - 8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Cribier B	Strasbourg 大学
	その他著者 1	Scrivener Y	同上
	その他著者 2	Grosshans E	同上
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	脂腺母斑上に悪性腫瘍は生じるか	
	研究デザイン	症例集積研究	
	セッティング	Strasbourg 大学	
	対象者	596 例（男性 306 例、女性 290 例、平均年齢 25.4 歳（生後 1 月から 87 歳））の脂腺母斑	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	脂腺母斑上に悪性腫瘍は生じるか	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	596 例（男性 306 例、女性 290 例、平均年齢 25.4 歳（生後 1 月から 87 歳））の脂腺母斑を病理組織学的に検討した（232 例は 16 歳以下で切除）。基底細胞癌は 5 例（0.8%、平均 39.3 歳）に対し、良性腫瘍は 81 例（13.6%、平均 46.3 歳）であった。良性腫瘍では Syringocystadenoma papilliferum（計 30 例、男性 15 例、女性 15 例）trichoblastoma（計 28 例、男性 7 例、女性 21 例）が多かった。	
	結論	脂腺母斑上に悪性腫瘍が生じると一般に考えられているが、その頻度は極めて低いものと推定される。また、小児においては悪性腫瘍発生はなく、良性腫瘍発生も 1.7%であった。小児期の予防的切除に根拠はない。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	師井 洋一	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（Ⅴ） 症例集積研究であり、エビデンスレベルは低いものの、多数例を検討した貴重なデータである。脂腺母斑に悪性腫瘍を生じる確率は極めてまれと考えられる。
--	------------	---